

や

まさき



葛根腰痛地蔵さま

自治会をあげたお祭りに…

葛根腰痛地蔵花まつり開催!!

当日は、約300名の参加があり、この場所のお世話をしている仲よし会や老人クラブ、子ども会など9団体が協力し、飲食コーナーや餅つき、福引などでお祭りを盛り上げました。

まつり実行委員長の助光和雄さ

葛根自治会には、祈願すると腰痛が治るといわれる「腰痛地蔵尊」があります。地元だけでなく、遠くからのご利益があるとお参りが昔から絶えません。

同自治会では、お地蔵さまの知名度にあやかり、4月15日(日)にこの場所ですべて「葛根腰痛地蔵花まつり」を行いました。



「せっかくみんな寄っとなやで何かやろ」と急ぎよ老人クラブと子ども会がボール転がしリレーで対決!

んは、「長く続けることに意味がある。花が咲く頃に、たくさんの人に楽しんでもらえる祭りにしたい」と意気込みを語られました。お盆には、仮装して踊る盆踊り大会やソフトボール大会を行い、これを楽しみに帰郷される方も多く、自治会の恒例行事となっています。

こうした自治会をあげた元気な取り組みが、地域のつながりを強くする新しいカタチです。

(山崎支部 森井裕矢)

い

ちのみや

「思いやり号」に「乗車ください」

染河内「思いやり号」運行中!

今月は、染河内地区の生活交通の顔として活躍中の「思いやり号」を紹介します。

思いやり号は、子どもたちの通学、高齢者の通院・買物などの移動手段として、平成20年4月から運行が始まり4年が経過しました。

4月23日(月)、

この日も思いやり号は、染河内(一宮市民局間(朝・昼・夕の3往復6便))を走り利用者は5人。

「思いやり号に乗って、みどり診療所や保健福祉センターにも行って欲しいですね」と、運転手の芦谷博嗣さんは言われます。思いやり号の



23年度の1便あたりの利用人数は0.4人。身近な交通手段として月～土曜日に運行中(写真はみどり診療所前)

運行は、地域のみなさんの思いやりやたすけあいの精神で成り立っています。地域の交通手段を守るためにも、ぜひ「乗車ください」。(一宮支部 波多野好則)